

2020 年 12 月 25 日

前田道路株式会社

二酸化炭素（CO₂）排出量の削減対策 ― 『GTL 燃料』をアスファルト合材製造に使用 ―

前田道路株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：今泉保彦）は伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡田賢二）が取扱う『GTL 燃料』を、当社の技術研究所（茨城県土浦市）において、アスファルト合材製造に使用するバーナーへの実証実験を行いました。

『GTL 燃料』は天然ガス由来で、重油との比較で 13% 程度の CO₂ 排出量の削減および NO_x（窒素酸化物）、PM（ばい煙や粉じんなどの粒子状物質）の 40% 程度削減が期待される製品であり、煤が出にくい特性があります。

本実証実験は、アスファルト合材の製造過程で骨材（砂利、砂）の乾燥加熱を行う際に、『GTL 燃料』を使用し（従来は主に A 重油を使用）、燃焼状況、燃焼データ、ばい煙測定の評価を行うものです。

今回期待された評価を得られたことから、来年度より本格的に合材工場への導入を進めることにいたしました。また使用データの分析により、全国の合材工場においても順次切換えていくことを検討してまいります。

当社は今後も CO₂ 排出量の削減など環境負荷低減の取り組み、環境負荷の少ない製品づくりを目指してまいります。

《 参 考 》

- 1) 技術研究所 〒300-4111 茨城県土浦市大畑 208
- 2) 試験内容 燃焼実験とその評価、骨材試験、製品性状確認、他



プラント全景



GTL燃料



ドライヤー(骨材乾燥機)



GTL燃料燃焼の様子